

つくば下総広域農道について

篠崎 孝之議員

質問

広域農道は既に昨年3月に供用開始となり、古間木地区から三坂地区、国道294号線へのアクセスがよくなり、利用者がふえ、非常に便利になった。ただ反面、294号バイパスでT字路となつているため、朝の通勤帯に渋滞が発生している。私は、この渋滞を予測し昨年の3月議会で質問をしたところ、294号バイパスの4車線化が進めば渋滞は発生しないとのことであった。しかしながら、一向に4車線化の工事は行われない。また、そのときの答弁で県道土浦坂東線中妻バイパスが24年度中に開通予定であるとのことであった。なおかつ、圏央道が24年度中に予定通り開通した場合、(仮称)水海道インターチェンジから294号バイパスの上下線に流れてくる交通量を考えた場合、特にこの地域には最近、古河市に移転した日野自動車への、あるいはそれに関係する流通経路として非常に高い評価を受けていると伺っており、ますます294



つくば下総広域農道

再質問

先月、つくば市の知り合

答弁(産業労働部長)

広域農道の延伸については膨大な事業費がかかると思われるが、新たな国補事業を活用した形で、茨城県の仕事として取り組んでいただけるよう要望活動について近隣市町と今後検討していく。

当市の選挙に関する取り組みについて

堀越 輝子議員

質問

景気低迷に伴い、各自治体では経費削減の取り組みが行われているが、選挙に際しても様々な工夫がなされている。その方法として、期日前投票を周知徹底し投票時間を短縮する。早稲田大学マニフェスト研究所の提案した方式を採用した開票事務時間の短縮、再生紙ポードを使った選挙ポスター掲示板の使用、投票所の統合・見直し、折れない投票用紙の使用が既になされているが、まだまだ、一つ一つの取り組みで大きな節約効果が上げられると考える。これらのことから伺う。

①当市では、具体的にどのような工夫、対策が行われているか伺う。
②投票は民主主義の根幹をなすものであり、世界では投票を義務化し、投票しないものに対し罰金を科しているところもある。日本では1980年代以降、投票率が低下しているが、市民の政治への関心や意識を高めるためにも、投票率を向上させるため、意識啓発やキャンペーンなどに積極的に行政が取り組む必要があると考える。当市では、どのような対策を検討しているか伺う。

答弁(総務部長)

①投票区の統合により、43から37に減らした結果、管理者・立会人の報酬削減、職員の人件費の抑制、備品購入費の削減を図った。また、投票入場券を、一人一通から一世帯一通とし経費

再質問

電子投票やツイッターの利用については検討しているか。

再答弁(総務部長)

今のところ検討していない。今後研究を重ね、投票率の向上、あるいは経費削減の方法を研究していく。



開票の様子